

九州・山口・沖縄地区のプリオン病の現状

研究分担者：九州大学神経内科 村井弘之

1999年～2012年までに登録された九州・山口・沖縄地区のプリオン病（計310人）の内訳



	102 GSS	180	200	203	232	180+232	178 FFI	178 fCJD	不明	計
山口	1	6			1					8
福岡	15	3	3	1	1		1	1	1	26
佐賀	14	1								15
長崎		1			1	1				3
熊本		1								1
大分			2							2
宮崎	1									1
鹿児島	7	1	1	1	2					12
沖縄		3								3
計	38 53.5%	16 22.5%	6 8.5%	2 2.8%	5 7.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	71

解説

- 九州・山口・沖縄地区では、遺伝性プリオン病の半数以上をGSS(コドン102変異)が占めることが特徴的である。
- 九州南部(鹿児島)と、九州北部(福岡-佐賀)に、GSS(コドン102変異)の2大集積地がある。